

第 1 8 5 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

令和 6 年 5 月 1 6 日（木）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 1 8 5 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 令和 6 年 5 月 1 6 日 (木) 1 1 時 0 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 2 階 「 共 用 会 議 室 D ・ E 」

出席者：

公 益 委 員	上原委員、赤嶺委員、大城委員
労 働 者 委 員	漢那委員、柴田委員、島仲委員
使 用 者 委 員	桃原委員、亀谷委員、角委員

沖 縄 総 合 事 務 局 野原船舶船員課長、
宜保課長補佐、
金城係員

議 事 次 第

○ 開 会

○ 議 事

1. 第 1 8 4 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 に つ い て
3. 意 見 交 換

○ 閉 会

(配 付 資 料)

資料 1. 第 1 8 4 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案)

資料 2. 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (令 和 6 年 4 月 分)

参考資料 1. 令 和 5 年 度 卒 業 者 進 路 状 況 一 覧 表 (沖 縄 水 産 高 校 ・ 宮 古 総 合 実 業 高 校)

参考資料 2. 令 和 6 年 度 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会 構 成 員 名 簿 (事 務 局 含 む)

上原 部会長

それでは、定刻でございますので、第 185 回 船員部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局からお願い致します。

事務局（金城）

本日は、公益委員 3 名、労働者委員 3 名、使用者委員 3 名が出席されており、船員部会運営規則第 9 条の規定による定足数を満たし、本部会が有効に成立していることをご報告させていただきます。

続きまして、今回の船員部会の配付資料を確認させていただきます。

（配付資料の確認）

上原 部会長

それでは、まず初めに、前回、第 184 回 船員部会の議事録について承認を諮りたいと思います。事前にメールにて確認されていると思いますが、議事録について何かご意見はありますか。

原案のとおり、承認してよろしいでしょうか。

（「はい」）の声

上原 部会長

異議がありませんので、承認されたものといたします。

続いて、議事の 2 「管内の雇用状況」について、事務局から説明をお願い致します。質問は最後に受け付けたいと思います。

事務局（宜保補佐）

令和 6 年 4 月分の管内雇用状況等の概要についてご報告致します。

● 求人状況について

新規求人数は 2 件でした。

新規求人における内訳としては、

旅客船に係る県内事業者 2 社から航海士 2 名となっております。

前月に比べ 10 件減少、また、前年同月と比べても 12 件減少となっております。

月間有効求人数は 43 件でした。

前月に比べ 4 件減少、また、前年同月に比べ 8 件減少となっております。

月間有効求人数の内訳は、商船等 42 件、漁船 1 件となっております。

月末未済求人数は 40 件でした。

●求職状況について

新規求職数は３名でした。

前月に比べ同数、また、前年同月と比べて６名減少となっております。

新規求職数の内訳は、商船等３名となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

４月の新規求職者３名の退職理由は、事業縮小・閉鎖・倒産が１名、自己都合が１名、海上勤務中の転職希望が１名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管外が３名となっております。

●求職状況について

月間有効求職数は１４名でした。

前月に比べ１名減少、また、前年同月に比べ５名減少となっております。

月間有効求職数の内訳は、商船等１２名、漁船２名となっております。

月末未済求職数は１１名でした。

●成立状況について

４月の成立は１件でした。

●求人倍率について

３月の月間有効求人倍率は、３．０７倍でした。

前月に比べ０．０６ポイント減少、前年同月に比べ０．３９ポイント増加となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は２名、支給延べ件数は２件です。

基本手当支給額は１１８，５５７円、

総支給額は１１８，５５７円でした。

以上、令和６年４月分の管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

上原部会長

ありがとうございます。ただいまの説明について、何か御質問などはございますか。

特にないので、議事３の「意見交換」に移りたいと思います

す。何かございますか。

柴田委員

久米島のジェットフォイルの件について、船員部会の中でも度々話題に出てきましたが、現在、総合事務局さんのほうにもいろいろ相談がされているかと思うので、今後どのように進んでいくのか可能な範囲で教えていただけますか。共同経営のことなど今後の運航にあたって様々な話がされてきていると思うのですが、先日、当組合にオーシャンジェット社にて雇用された船員さんが来られました。その方の詳細は控えますけども、船舶に関して何年か経験はあるけど、ジェットフォイルのような高速船に関しては、デッキの方もエンジンの方も全くの未経験者らしいです。これからこのジェットフォイルを運航するにあたって、トライアルなどの試験を行い準備するとかいろいろあると思うのですが、このときの安全確認などについて総合事務局さんとしてはどのような基準があるのでしょうか。前例を参考にして基準を設けたりすると思うのですが、知床の事故などもありましたので、安全面というのは非常に厳しく指導していただきたく思います。現在大分県にてホーバークラフトの導入に向け準備を進めていますよね。あれもちょっと特殊な船で、去年からもう半年近くトライアルをやりながら、経験がないため接触事故なども起きていますが、そういうことを経験してスキルを積み、本格的に運航すると。あれですら半年間やっているところですが、ジェットフォイルを運航させるにあたり、そういうトライアルに関しての規定などの安全基準というのは、今後どういう考えでおられるのかお聞かせ願いたいです。

事務局（野原課長）

本日担当者が欠席のため、当該事業に関する詳細はお伝えできませんが、先日、会社から運航に必要な船員等についての相談がありました。その中で船員に対しては船と航路にあった教育訓練を徹底して行うようにと伝えていきます。

柴田委員

新規参入会社からスタートするということも踏まえ、しっかりチェックをいれてほしいです。総合事務局さんとしても簡単に許可を出してしまうことはあまりよろしくないかなと思いますので、船員の数やどのような研修をして経験を積ませるのか総合事務局から見ても運航上問題ないのか念入りに確認していただきたいです。

漢那委員

今の関連で、今回、久米商船さんとの新規参入してくる会社は、サービス基準をクリアするという共同運航の形ではなく、共同経営という形で新しく導入することになるのかなと思います。久米商船さんに所属する船員は我々の組合員なので、共同経営という形で久米商船さんが不利益を被るということは、我々の組合員にも不利益を被ることになるのでそのようなことがないようにお願いします。また、我々の組合員でもある久米商船さんの船員をジェットfoilで働かせないということもここではっきりと確認させてください。先ほどの大分でのホーバークラフトの件についても、いろいろ指摘はさせていただいております。お客さんを乗せる船なので、やはり安全が一番大事だと思います。その中で、もしこのジェットfoilで事故が起こった場合、総合事務局も許可を出し指導している立場上、見て見ぬふりはできないと思います。知床の事故の件もあり、現在全ての高速船で安全基準は高くなっています。その中でそれを軽視したような形での運航をさせることのないよう総合事務局としても責任を持って安全運航に努めるよう強く指導することと久米商船に不利益が被るような影響が及ばないことをこの場ではっきり説明をしてもらいたいなと思っております。今回ご担当者が不在とのことなので次回以降お願いします。

また、もう一つよろしいですか。過去に久米商船は高速船も運航しており、当組合員も乗っておりましたが、そのとき赤字が膨らむなどの理由から総合事務局の指導により、やめさせましたよね。しかし今般、このジェットfoilの新規参入を認め、その結果、補助金が出るようなことになったら総合事務局さんの対応としては一貫性がないですよ。導入を認める理由についても追って説明していただきたいです。

桃原委員

私からも少しよろしいですか。現在の進捗についてどうなっているか簡単に説明させていただきます。今月、オーシャンジェット社と共同経営、共同運航に関する協定書について最終確認の段階に入りました。当然のことながら、やはり船が違いすぎますので、お互いの会社に属する船員について運航は完全に別にする形とし、責任も別だということで話を進めております。ただ認可が下りるかどうかは、また別の話です。

漢那委員

仮に、一般旅客定期航路事業の許可を取って運航した場合、将来、共同運航する事業者側の負債まで久米商船さんの負担とならないようそこはきっちりやってもらわないと。我々の組合員に雇用の不安を与

えない、惹起させないなど、一度、沖縄支部と確認を取ってもらいたいですね。

柴田委員

さきほどから言っているように、その準備がどこまで進んでいるかなどの情報について把握しきれていない部分があるので、私たちや総合事務局さんも気にはされているところかと思うのですが、しっかり準備を整え、さきほどの安全面や補助金の話、現場の当組合員の話などトントン拍子に進めるのではなく、しっかり慎重にステップを踏みながらやってほしいというのが率直な気持ちなのですよ。

漢那委員

最後によろしいでしょうか。久米島航路では過去に貨客船「みどり丸」が沈没した海難事故がありました。多くの死者がでた悲惨な事故が過去の事例としてあるので、もう二度とそのような惨事が起こらないよう新規参入の会社への指導を含めてジェットフォイルの安全確保をきっちりやっていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

上原部会長

はい、ありがとうございます。この件は次回以降、ご担当者が出席した際、情報があればお伝えください。そのほか何かご意見ありますか。特にないようですので、前回の船員部会にて柴田さんと桃原さんから質問いただいた件について、事務局から回答があるそうですので、よろしくお願いいたします。

事務局（宜保補佐）

前回の船員部会で資料配布した令和5年度の県内水産系高校の卒業生進路状況一覧につきまして、柴田委員と桃原委員からいただいたご質問の回答をさせていただきます。参考資料1をご覧ください。

まず、柴田委員からいただいた2点のご質問について。1点目として、配付資料に卒業生の就職した事業者の一覧表があるが、学校あてにどれほどの事業者が求人票を提出したのか。もし、専攻科あて何社、本科あて何社などの内訳まで分かれば教えてほしいというご質問。またもう1点について、学校に対しての求人倍率はどれほどかというご質問。この2点のご質問について、事務局から沖縄水産高校と宮古総合実業高校の担当教諭に確認しました。

沖縄水産高校については、県内事業者が8社、県外事業者88社の合計96社から求人票の提出があったと報告がございました。なお専攻科、本科の内訳までの報告はございませんでした。また学校あての

求人件数は合計 5 1 2 件あり、求人倍率は約 1 5 倍となっております。

宮古総合実業高校につきましては、県内事業者が 0 社、県外事業者 3 5 社の合計 3 5 社から求人票の提出があったと報告がありました。また学校あての求人件数は合計 1 6 1 件あり、求人倍率は約 3 2 倍となっております。

次に、桃原委員からいただいた、沖縄水産高校の本科の卒業生が 2 0 0 名ほどおり、海上への就職や進学した生徒が約 4 0 名を除いた残り約 1 6 0 名の卒業者についてはどのような進路をたどったのかというご質問につきまして、こちらでも学校の先生に確認しました。残りの卒業者は、主に総合学科の生徒になりますが、卒業者が多くいることから、担当教諭も就職・進学状況の詳細については把握できていないと報告がありましたことをこの場を借りてご回答させていただきます。以上となります。

上原部会長

はい、ありがとうございます。柴田委員、桃原委員、事務局からの回答について何か質問等はございますか。特にないようであれば事務局から次回開催について、連絡をお願いします。

事務局（金城）

6 月の船員部会は、6 月 2 0 日（木）に 5 階海技試験室で、1 1 : 0 0 より開催いたします。後日、改めて案内の文書をメールで送付いたします。出席できない場合は、事前に事務局まで御連絡ください。

また、今回の議事録案は後日、メールで照会させていただきますので、よろしくお願いいたします。

上原部会長

それでは、以上をもちまして終了させていただきます。お疲れ様でした。